令和４年度　田浦中学校地区懇談会　実施報告

生徒指導担当　高橋健人

１．目的
・地域と共に子どもたちを育て、見守る関係づくりを深める。
・地域の方々（保護者・教員・地域各団体）と顔見知り度を高める
・夏休みを前に地域の危険箇所や学校の情報を共有する
２．日時　　令和４年７月１９日（火）　１６：００～１７：００
３．場所　　生徒棟１階　各教室
４．テーマ　『田浦中学校の生徒を共に育て、見守る』
５．全体会→視聴覚室からオンラインで配信　　分散会→各教室で地域グループで実施

小学校代表の先生方よりお話を頂きました。

船越小学校　浦嶋校長　　田浦小学校　岡部校長　　長浦小学校　小野寺教頭

- セブンイレブン前で毎日登校始動しているが、あいさつする生徒は限定されている。
- 学校の中では大きな声でしてくれるが外になるとない気がする。
- 不審者案件があり、声をかけることがお互いにむずかしくなっている。
- 地域で顔見知りになることが大事。
- 小学生は外で遊ぶことが多い。
- 笑顔の会（chromebook で）実施

- 教育環境整備計画が進行中ですが、「田浦小が廃校」ではない。子どもたちにとって最も良い方法を考えていきましょう。
- 授業参観実施、すこやかんで水泳授業
- ５年生キャンプは延期
- 子どもたちは元気に外で遊んでいる。

- ４月から着任。挨拶が上手。人懐っこい。
- 地域がしっかり見守ってくれている。くじら隊やおやじくじらなど
- 日々感染対策に追われている。
- ５月に運動会、全校で梅の里へ、授業参観やプールも実施
- 携帯電話教室の実施。自分で判断できる人に。
- 遊び方について報告がある。保護者がその場で注意。

生徒の地域での様子や危険箇所等の情報共有(分散会)を行いました。

＜生徒に関すること＞

・田浦中の生徒、地域や電車などでの行動についてはマナーは良いと思う。
・コロナ禍で人間関係が希薄になり、コミュニケーションをとることが苦手になっているように見受けられる。ＳＮＳのトラブルはそれが要因のひとつになっている可能性がある。
・家で引きこもって、ラインやゲームをしている。外にあまり遊びにいかない。
・地域で大人とすれ違う時にきちんと挨拶ができている。（中学生）
・個人情報の関係で新入生のお子さまの把握が難しい。（子ども会等で）入学してからの情報になるのでコミュニケーションがとりづらい。
・南郷公園で遊ぶ子どもが増え始めた。中学生はあまりいない。
・マスクをしていることで、知らない人にやたら声をかけない、コロナの心配もあり、話しかけることに抵抗を感じている。
・今の子どもは素直で真面目過ぎるため、失敗が少ない。挫折や叱られず、将来、社会に出たときに上手くやっていけるのか心配である。
・SNS のトラブルが心配。（卒業アルバムの見せ合い）
・ジャージで塾に行く子が多い。名前が入っていて、個人情報は大丈夫か。

＜地域に関すること＞

・地域で心配な場所、場面はあまり見られない。
・人の流れが多い場所でも不審者が出る場所もあるので、防犯カメラをつけている場所が増えている。
・自転車の交通事故にも注意をしたほうがいい。
・新入生に子ども会からプレゼントをしていたが、個人情報の兼ね合いで漏れてしまう子がいる。
・コロナで活動ができていない。非行防止キャンペーンもできていないので危険箇所の調査を行った。
・公園の遊具撤去。小学校にはジャングルジムや鉄棒がある。危険が少ないことは良い事だが、危ない事を学ぶ機会が少ない。
・８丁目第２公園の三叉路、車が一時停止をしない→田浦署にパトロール依頼済み
・登校班登校がなくなって、親同士、子ども同士の知り合う機会がなくなった。
・長浦小学区で交通量が増え、ダンプの抜け道になっている。交通事故に繋がる可能性がある。
・マンション群で夜間話し込んでいる様子がある。
・本来降りて通るはずのトンネルを自転車がすごいスピードで通っている。
・港ヶ丘の GS 前の十字路が心配。人も車も信号を待ちきれない。
・学校下のコンビニから坂の上、交通防犯部（月３回）パトロールしている。
・入学式後長期休業明けにパトロールしている。

【全体として】

約２年ぶりの地区懇談会開催となりました。従来の形ではなく、感染症対策を講じながらも、直接顔を合わせてお話をすることを大切に準備を進めました。全体会では田浦警察署から地域の様子や防犯情報の共有（特殊詐欺、不審者被害等）を行って頂きました。分散会では、田浦中学校区の小学校代表の先生方から各校の様子を、青少年育成推進委員の方々やPTA役員、保護者の皆さまから地域の様子を伺うことができました。

参加者の方からは、中学生がコロナ禍によって家で過ごすことが多く、地域の活動もなくなり、子どもの様子を見る場面がさらに減っていること、様々な制限がある中でできることを考える必要がある。という感想を頂きました。また、今回の地区懇談会はお互いを知る意味でよい機会だったという意見も多く頂きました。

在校生の子ども達は入学時から感染症対策・予防に努めながらの中学校生活を送っています。常にマスクを着用し、三密を避ける生活を送ってきているため、コミュニケーションの取り方（人の表情を読む、人の感情を予測する）が課題として上げられます。そのような中でも少しずつ再開されている学校行事では上級生が学校全体を引っ張っていく、田浦中生の伝統を大切に日々前向きに過ごしています。中学生の一日のうち、学校で過ごす時間は８時間程度です。その倍以上を過ごす家庭や地域と学校が共に生徒を育て、見守ることができる田浦中学校区が発展していくことを切に願います。